

司式 熊田雄二牧師

奏楽 豊島慶子姉妹

前 奏

開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 14:1 ほめたたえよ造り主を

ほめたたえよ造り主を きよき御前にひれふし

ささげまつれ身をもたまをもたぐいなき御名を崇めて アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書2 罪の告白①

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。 (詩編51)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 14:2 くすしきかな神の力

くすしきかな神の力 荒ぶる波をしずめて

あやうきより御民を守り この世の悩みに勝たしむ アーメン

公 同 の 祈 禱 祈禱書44 進路・受験・就職のための祈り

神様、教会の子どもたち・青年たちが、与えられた賜物と使命にふさわしく導かれますよう

ひとりひとりに。一人一人が、与えられた能力を十分に発揮することができますように。  
すでに進路が決まった者、これから決まる者、希望どおりにいった者、希望どおりにいかなかった者、その一人一人のゆくべき道を守ってください。  
喜びのときには感謝し、悲しみのときには耐え忍ぶ信仰を養ってください。

(箴言3、エフェソ4~5)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 東部中会中の伝道伝道活動 70

今献ぐるそなえものを 主よ 清めて受けたまえ アーメン

聖書朗読 ルカ福音書24章13~53節 (新約聖書160頁)

説教・祈祷 「心は燃えていたではないか」 熊田雄二牧師

\* 賛美歌 28:1.2 主よ命の言葉を

- 1 主よ 命の言葉を与えたまえ わが身に  
われは求む ひたすら 主よりたもう御かてを
- 2 ガリラヤにて 御かてを分けたまいし わが主よ  
今も 活ける言葉を与えたまえ豊かに

アーメン

\* 主の祈り 祈祷書1

天にまします我らの父よ  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ  
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 頌 栄 65 父・御子・御霊のおお御神に

父・御子・御霊のおお御神に

ときわに絶えせず 御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

\* 祝 祷

後 奏 (黙祷)

報 告 門脇献一長老 (司会・受付 次週：古澤純一長老)

本日 受付 1階：藤井牧子・大日南隆夫執事 2階：大日南信也執事 / ZOOMホスト・録音：門脇光生

次週 受付 1階：藤井牧子・佐藤紀子執事 2階：古澤迪子執事 / ZOOMホスト・録音：

※ 2グループ制により、長老も1階と2階に一名ずつ加わります

「もし、あなたがそこにいたら」という聖書物語があります。「もし、私がそこにいたら」ということで行けるとしたら、いちばん行ってみたいのが、きょうの「エマオの道」です。イエス様が道々お話なさったことを全部聴いてみたいのです。二人の弟子は、イエス様が聖書を説明してくださったことに「心が燃えました。」

私が若い頃、兄の四畳半のアトリエに、「エマオの道」の絵がありました。印象派の画家コローが描いた絵で、光の描き方がとても美しい絵だと兄は説明してくれました。確かに美しいのですが、私が大学を中退して伝道者になる決心をしてから聖書を学ぶ生活に入ると、だんだん、この絵には違和感を感じるようになりました。

一つは、三人の顔が西洋人の顔をしていることですが、これは西洋の画家によくあることで、コローだけがそうなんじゃあないです。2000年前のユダヤ人は西洋人とはあまり混血していないので、アラビアの遊牧民に近いはずです。二つ目は、エマオの道はこんなに木が生い茂っていないはずだ、乾燥地帯だということです。雨季と乾季の2シーズンで、春夏秋冬の4シーズンじゃあないという点です。

そして三つめは、この個所を何度も何度も読んでいくうちに起こってきた違和感ですが、それは、そこに私がないということです。コローにしてみれば「無茶言うな」というでしょうけど、私のイメージでは、三人のすぐ後ろで私もイエス様の話を聴いているのです。そういう願望がだんだん強くなってきたのです。

この願望は、私の魂が時間から解放されて永遠性を与えられたら実現するのではないかと思っています。永遠とは時間のずーっと先ではなくて、時間を超越しています。今風に言えば、永遠は時間を「超(チョー)、越えて」います。歴史の時間軸のずーっと先でもずーっと前でもないのです、永遠は時間軸に対して等距離にあります。時間空間全く自由に。そうすると、召されることは楽しみでもあります。

さて、イエス様は、エルサレムからエマオまで「60スタディオン」の距離

でお話なさいました。60スタジアムですから、今風に言えば「東京ドーム60個分」です。歩いて2～3時間の距離ですので、けっこう長くお話なさいました。私はその場面の一部を切り取った絵を見たいのではなくて、2～3時間もののビデオを観たいのです。

そうすると「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」という思いをきつとすることに違いありません。私がこれまで心が燃えたのは聖書が分かった時です。分かるたびに燃えながら伝道者・牧師を40年務めてまいりました。

学生時代、正義感には燃えていましたが、魂の底から燃えてはいませんでした。マルクスの言う「宗教はアヘンだ」とは直接的には西洋のキリスト教への攻撃で、確かに当たってはいました。しかし、初めて聖書を開いた時の一ページ目「初めに神は天地を創造された」の言葉にカミナリのように心が打たれた時から、私は無神論者にはなれませんでした。

しかし、キリスト教くさいアヘンにもなじめませんでしたから、キリストに何かくつついたものは全部疑ってかかることにしました。キリスト教とか、キリスト教会とか、キリスト教徒とか、そして特にキリスト教国とか。キリストだけを信じたい、聖書からキリストだけを知りたい。そして中退してからバイブルカレッジ、神学校で聖書を学びました。

聖書の学び方にもいろいろあって、聖書の読み方にもいろいろあるのですが、物知り博士みたいな知識で「聖書的」というのは違うなと思い、旧約新約の「契約」の仕組みを特に学びました。すると、神は救いを与えてから契約を結ぶお方であることが分かり、「贖いと契約の歴史的進展」はスペクタクルなドラマであることが分かったと、心が燃えてきました。